



影山 摩子弥



1959年、静岡県に生まれる。  
早稲田大学商学部卒  
〈専攻〉経済システム論、経済原論  
〈現職〉横浜市立大学教授、横浜市立  
大学CSRセンター長、横浜市立大学  
生協理事長、キャリアカウンセラー

# 大企業の工夫

こんにちは！まこやです。

汚染米事件、やばいです。大臣の失言や行政の失態も問題になりました。国の政治や行政も社会的責任を負っています。国民が重要なステーク・ホルダーってこと、忘れてほしくないですね。

さて、今日は、おっきな企業です。大企業だから、さぞかしものすごいことをやってるんだらうとお思いかも知れませんが、でも、大企業の場合、難しいんです。

影響力が大きく広範囲にわたるんで、いろんな考えや立場のステーク・ホルダーを抱えています。注目度も高くなるんで、いつも厳しくチェックされる。たとえば、他の企業がやっていることをやっても、サルまねと思われる、アピールの仕方によっては、売名行為とたたかれる、つてなぐあいです。そんなわけで、けっこう工夫が必要なんです。写真を見てください。東京ガスが、

ガスメーターの復帰方法を効果的にお知らせするために作ったものです。これ、ドロップの缶です。よく売られているドロップの缶に印刷してあるんです。

復帰に関する問合わせって、結構多いらしいんですが、復帰方法を紙に印刷して配っても、読んでくれなかったり、大事に保管してもらえない。でも、ドロップなら、全部食べちゃうのに期間がかかるんで、しばらくみんなの目に触れます。缶なら古新聞にまぎれることもない。イラストもいいですよ。寄藤文平さんをお願いしたそうです。

既存の製品のパッケージに印刷してお知らせ効果をだすってのも、CSRの取組みになるんです。開発に当たっては、NPOのプラス・アーツの助言も訊いたそうです。

ガス会社にとって、重要なCSRは、

「ガスの安定供給」です。ガス器具をひねれば火がつく、みんな当たり前と思ってますよね。でも、当たり前裏には、ガス会社の地道な努力が隠れています。ドロップ缶も地道なCSRの一端です。

欲を言えば、中身も「東京ガスオリジナル」として開発すると、広報効果もあがるだけでなく、ビジネスチャンスにつながる可能性もあります。東京ガスのビジネスってわけにいかないでしょうから、地域の中小企業やNPOにまかせる手もあります。広報のためのもちよとした工夫が、地域の活性化につながる可能性もはらんでるんです。では、今日はこのへんで。



## ミニ知識

- \* CSR : Corporate Social Responsibilityの略で、直訳すると企業の社会的責任。現在では、「企業や行政、NPOなどすべての組織の社会的責任」の意味で使われています。
- \* ステーク・ホルダー：事業体の影響を受ける一方で、事業体に影響を与えるすべての人や組織。CSRは、ステーク・ホルダーの良い対応を引き出すために取組まれます。

読者アンケートにご協力を！  
メールをお待ちしています

今月号いかがでしたか？ これまでの号も含め感想をお寄せください。Eメールのみでの受付となりますが、たくさんの感想をお待ちしています。

### アンケート内容

1. 月刊 リサイクルデザインで取り扱ってほしい事
2. 今月号の感想

Eメール  
mail@recycledesign.or.jp

HP

メールの件名を『リサイクルデザイン読者アンケート』とし、アンケートの質問番号の後に回答をお書きください。お名前(フリガナ)・郵便番号・ご住所・年齢・性別・職業をお忘れなく。(HPからの方が簡単です) 抽選で10名様にりくみちゃんシャープペンとノートのセットをプレゼントいたします。